

さるまじうあながちなる所に、かくしふせたる人の、いびきしたる、

〔源氏物語權二十〕よひまどひをし侍れば物もえ聞えやらすと、の給ふほどもなく、いびきとかき、

しらぬをとすれば、略○下

〔源氏物語角四十七〕とくうちとけて、おもふやうにておはしまさなんと、いふくねいりて、いびき

など、かたはらいたくするもあり、

〔平家物語五〕文がくながされの事

遠江の國天龍なだにて、にはかに大風吹大波立て、すでに此舟をうち返さんとす、略○中 去ども文

覺はちつともさばがず、舟ぞこにたかいびきかひてぞふしたりける、

〔太平記一〕頼員回忠事

時綱略○中 中門ノ方ヲ見レバ、宿直シケル者ヨト覺テ、物具、太刀、刀、枕ニ取散シ、高艤カキテ寢入

タリ、

頭

〔伊呂波字類抄加人〕箸カツ、亦 頭カシラ 顛カシラノカハラ 亦カシラノカハラ、

〔增補下學集上二〕頭カシラ體カシラ而カシラ獨カシラ也、言處、顛カシラノカハラ 顛カシラ蓋也、

〔和漢三才圖會十二〕頭カシラ體カシラ而カシラ獨カシラ也、言處、顛カシラノカハラ 顛カシラ蓋也、

按、頭字本作百象形、後下加入作頁、或上加𠂔作𠂔、𠂔即髮象、

頭骨曰髑髏和名比止、頭中髓曰腦腦同、和名、腦蓋骨曰顛音信、和名、嬰兒腦骨未合、軟而跳動處曰顛

門、頭頂曰顛伊頭同、和名、耳後大骨曰完骨和名美々世、頭莖曰頸音景、和名、充音岡、頭莖之後曰項和名字

耳上陷嚙牙則動處曰𦉳谷和名古、頭垢曰雲脂和名加之良乃、

男子自頂至耳拜腦後共八片、腦後橫一縫當正直下至髮際、別有一直縫、

女子止六片、亦腦後一橫縫當正直下則無縫、